

伝統の 三味しやみをグラスに 注ぎ分ける

えどきりこ

師弟の契り 江戸切子酒

令和三年十一月十八日

大中臣正比呂



新橋芸者さんの粋な計らいで、銀座の店にマイグラスを置いた。

昨夜は三味線のお師匠さんと羽觴を飛ばした。羽は赤と青の切子に

透明に広がっている。注いだ女の子は、部屋の小口で昼寝する、

長唄 越後獅子、バラントインの十七歳だ。